

県内中小企業(製造業)景況動向

令和3年10月～12月期

全体的に回復傾向にあるものの、依然として低迷状態続く

本会調査結果概要

3年4月～6月 3年7月～9月 3年10月～12月 来期見通



DI平均値▲6.4

DI平均値▲11.0

DI平均値▲9.0

DI平均値▲5.3

※DI平均値=(売上高DI+収益性DI)/2

DI平均値(同期比)については▲9.0となり、前回調査(3年7-9月期)の▲11.0から2.0ポイント上昇している。来期見通しにおいては3.7ポイント上昇して▲5.3となっている。

<概況>

回収率：48.2% (241社)

平均従業員数：53.2人

売上高DI(同期比)

前期	今期	「増加」
▲6.5	▲4.2	+2.3P

収益性DI(同期比)

前期	今期	「好転」
▲15.4	▲13.8	+1.6P

業況DI(同期比)

前期	今期	「好転」
▲13.7	▲10.5	+3.2P

原材料価格DI(前期比)

前期	今期	「上昇」
50.9	70.4	+19.5P

販売価格DI(前期比)

前期	今期	「上昇」
0.7	7.9	+7.2P

資金繰りDI(前期比)

前期	今期	「好転」
▲20.3	▲15.3	+5.0P

金融機関の態度DI(前期比)

前期	今期	「緩和」
▲1.9	▲1.3	+0.6P

設備操業率DI(前期比)

前期	今期	「上昇」
▲16.3	2.4	+18.7P

設備投資実施率(前期比)

前期	今期	「上昇」
29.3%	35.3%	+6.0P

業種別景況動向

食料品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲7.2	▲43.7	▲18.9	2.4

同期比の売上高DIは▲15.0、収益性DIは▲22.8で、両方を合せたDI平均値は▲18.9となり「小雨」模様へ転じている。来期見通しは21.3ポイントの大幅上昇で2.4となり「曇」模様へ転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは12.9、収益性DIは▲17.1となった。

また、雇用人員判断DIは14.7、設備操業率DIは8.8、設備投資実施率は42.5%、来期の設備投資計画率は28.6%となった。

繊維・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
▲29.6	▲26.7	▲12.0	▲7.9

同期比の売上高DIは▲9.7、収益性DIは▲14.3で、両方を合せたDI平均値は▲12.0となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは4.1ポイントの上昇で▲7.9となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲13.3、収益性DIは▲18.2となった。

また、雇用人員判断DIは27.3、設備操業率DIは▲4.5、設備投資実施率は20.7%、来期の設備投資計画率は14.8%となった。

木材・木製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲13.6	▲36.1	▲13.9	▲36.1

同期比の売上高D Iは0.0、収益性D Iは▲27.7で、両方を合せたD I平均値は▲13.9となり「曇」模様へ転じている。来期見通しは22.2ポイントの大幅下降で▲36.1となり「雨」模様へ転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは0.0、収益性D Iは▲38.9となった。

また、雇用人員判断D Iは0.0、設備操業率D Iは▲11.1、設備投資実施率は22.2%、来期の設備投資計画率は21.4%となった。

紙・加工品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲3.6	0.0	3.9	7.7

同期比の売上高D Iは0.0、収益性D Iは7.7で、両方を合せたD I平均値は3.9となり「曇」模様が続いている。

来期見通しは3.8ポイントの上昇で7.7となり「曇」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは30.8、収益性D Iは15.4となった。

また、雇用人員判断D Iは30.8、設備操業率D Iは15.4、設備投資実施率は23.1%、来期の設備投資計画率は16.7%となった。

窯業・土石製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲18.9	▲34.1	▲37.4	▲41.4

同期比の売上高D Iは▲37.5、収益性D Iは▲37.2で、両方を合せたD I平均値は▲37.4となり「雨」模様が続いている。来期見通しは4.0ポイント下降して▲41.4となり「雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは▲10.0、収益性D Iは▲14.2となった。

また、雇用人員判断D Iは34.3、設備操業率D Iは▲11.4、設備投資実施率は40.0%、来期の設備投資計画率は27.3%となった。

金属・同製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
41.9	34.3	▲1.8	15.5

同期比の売上高D Iは10.7、収益性D Iは▲14.3で、両方を合せたD I平均値は▲1.8となり「曇」模様へ転じている。来期見通しは17.3ポイントの上昇で15.5となり「薄日」模様へ転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは42.9、収益性D Iは14.3となった。

また、雇用人員判断D Iは23.8、設備操業率D Iは23.8、設備投資実施率は40.7%、来期の設備投資計画率は34.6%となった。

機械・機器

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
▲16.8	14.0	25.6	14.2

同期比の売上高D Iは32.3、収益性D Iは18.8で、両方を合せたD I平均値は25.6となり「薄日」模様が続いている。来期見通しは11.4ポイントの下降で14.2となり「薄日」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは15.3、収益性D Iは0.0となった。

また、雇用人員判断D Iは24.0、設備操業率D Iは8.0、設備投資実施率は39.0%、来期の設備投資計画率は38.0%となった。

プラスチック製品

4-6	7-9	10-12	来期見通
			
54.5	8.8	▲58.4	▲8.4

同期比の売上高D Iは▲66.7、収益性D Iは▲50.0で、両方を合せたD I平均値は▲58.4となり「雨」模様へ転じている。来期見通しは50.0ポイントの大幅上昇で▲8.4となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは▲33.3、収益性D Iは▲50.0となった。

また、雇用人員判断D Iは▲25.0、設備操業率D Iは▲16.7、設備投資実施率は33.3%、来期の設備投資計画率は45.5%となった。